

RC HELICOPTER



難易度を下げてRCヘリコプター委員会で制定された 平成30、31年度 日本選手権地区予選 限定演技規定

2017.11.4 東京・港区 航空会館会議室

日本模型航空連盟RCヘリコプター委員会委員長／酒井 堯之

2017年11月4日、東京都港区新橋の航空会館会議室で日本模型航空連盟RCヘリコプター委員会が開催され、平成30年度の予選限定演技が決まりました。

F A I競技規則は4年毎の変更が原則でしたが、ここ数年は演技科目が2年毎に難度の高い演技に変更されており、RCヘリコプター日本選手権地区予選もその規定に従って実施しておりました。F 3 C競技を目指しているマニアの方にとっては、演技をマスターしても、さらに難度の高い演技に変更されるため、予選出場を目標としている選手が躊躇しているとの意見が、以前から委員会の議題になっておりました。

2018年はF A I競技規則が変更される年度ですが、RCヘリコプター委員会では、平成30年、31年(2018、2019年)の2年間は、難易度を上げない日本選手権地区予選限定の演技スケジュールPを、平成30年度RCヘリコプター日本選手権地区予選から実施することに決定いたしました。

演技科目以外の部分については規定のとおりとします。ただし、この演技科目は地区予選限定であり、予選を通過された選手が日本選手権に出場されるときは正規の競技規定が適用されます。

5.4.14 演技のスケジュール 日本選手権地区予選限定(平成29年11月4日決定)

【飛行プログラム】

フライトプログラムは、2018年から2019年の間はスケジュールPを日本模型航空F3C RCヘリコプター日本選手権地区予選限定のプログラムであり、日本選手権では正規のスケジュールPで構成される。スケジュールは9個の演技で構成される。

【演技科目の実行】

競技者は中央のジャッジの正面から4.5m離れた位置にある直径2mの円内(別紙新120° フレーム図P)に立たねばならない。

最初の演技の開始前に、競技者は模型をセンターヘリパッドまで飛行または運搬する。

ヘリパッドまで飛行させる場合は、安全上の理由から模型を2mの高さで飛行させなければならない。あるいは、助手が模型をヘリパッドまで運んでもよい。模型は、右または左に向いて置くことが許されるが、このときジャッジ・ラインに平行に置かれていなければならない。

それぞれのホバリング演技はヘリパッド上への着陸で終了する、そしてそれぞれの着陸の後に、模型を次の離陸の前に置き直すことができる(機首の向きは同じとする)。

ホバリング演技が完了したら、競技者には、上空演技科目のセットアップを目的としたフリー・パスが一回許される。

すべてのエアロバティック演技は、審査員が明瞭に見ることのできる空域

において行われなければならない。

この空域とは、地平線の上方60°以内、1番と5番の審査員から直径2mの円内(P)の中心を交差した、左と右60°の線の内側の視野をいう。

この規則を遵守しない場合、点数を減じるペナルティが適用される。

エアロバティック演技は、滑らかに、途切れることなく、審査員の前を通過する毎に演技しなければならない。ターン・アラウンドの形式には一切の制限を設けない。各競技者は、フライト中に各演技を1回のみ実施するものとする。

各演技の名称(番号)とそのスタートおよびフィニッシュは、競技者もしくはその競技者のコーラーによってアナウンスされなければならない。

演技の順序をまちがえて演技した場合、その演技科目はゼロ(0点)となる。

オートローテーション演技の前に、競技者は風向きの変化に順応させるために、フリー・パスを行うことができる。

5D.2 スケジュール・P

(日本選手権地区予選限定のプログラム)

P1. フラワー(UU) K=1.5

模型はセントラルヘリパッドより2m垂直に離陸し、2秒以上のホバリング。そして、後退上昇で半径5mの1/4円を描き、フラッグ1(または2)の直上で停止し、2秒以上のホバリング。

緩やかな360°ピルエットを行いながら半径5mの1/2円を描き、フラッグ2(または1)の直上で停止し、2秒以上のホバリング。

後退降下で半径5mの1/4円を描きヘリパッドの直上で停止し、2秒以上のホバリング。

降下しヘリパッドに着陸する。

P2. カップ(UU) K=1.5

模型はヘリパッドから垂直に離陸し、180°ピルエットを行いながら、2メートル上昇し、2秒間以上ホバリング。

任意の方向に180°ピルエットを行いながら、後方に5メートルの半径の円の左下1/4を描いて上昇し、フラッグ上で停止し、2秒間以上ホバリング。

反対方向にあるフラッグ上まで2つの180°ピルエットを行いながら移動し、停止し、2秒間以上のホバリング。

任意の方向に180°ピルエットを行いながら、5m半径の円の右下1/4を描いて下降、中心線上で停止し、2秒間以上ホバリング。

ヘリパッドへの下降と着陸は、任意の方向に180°ピルエットを行いながら行うこと。

注意事項1:ピルエット方向の変化は、中心線上でスムーズに行うこと

P3. ダブルキャンドル・ウイズ・ディセンディングフリップ (DD) K=1.0

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、そしてプルアップしセンターで垂直



↑ F3C 演技中。平成 30 年度は難易度を下げた演技種目で予選を行うことに決定した。

上昇する。ノーズアップの停止に達したら、2m以上の垂直後退降下。

移動しながらの1/2アップフリップ。
2m以上の垂直降下後、センターで1/2ループ。

垂直上昇し、ノーズアップの停止に達したら、2m以上の垂直後退降下。

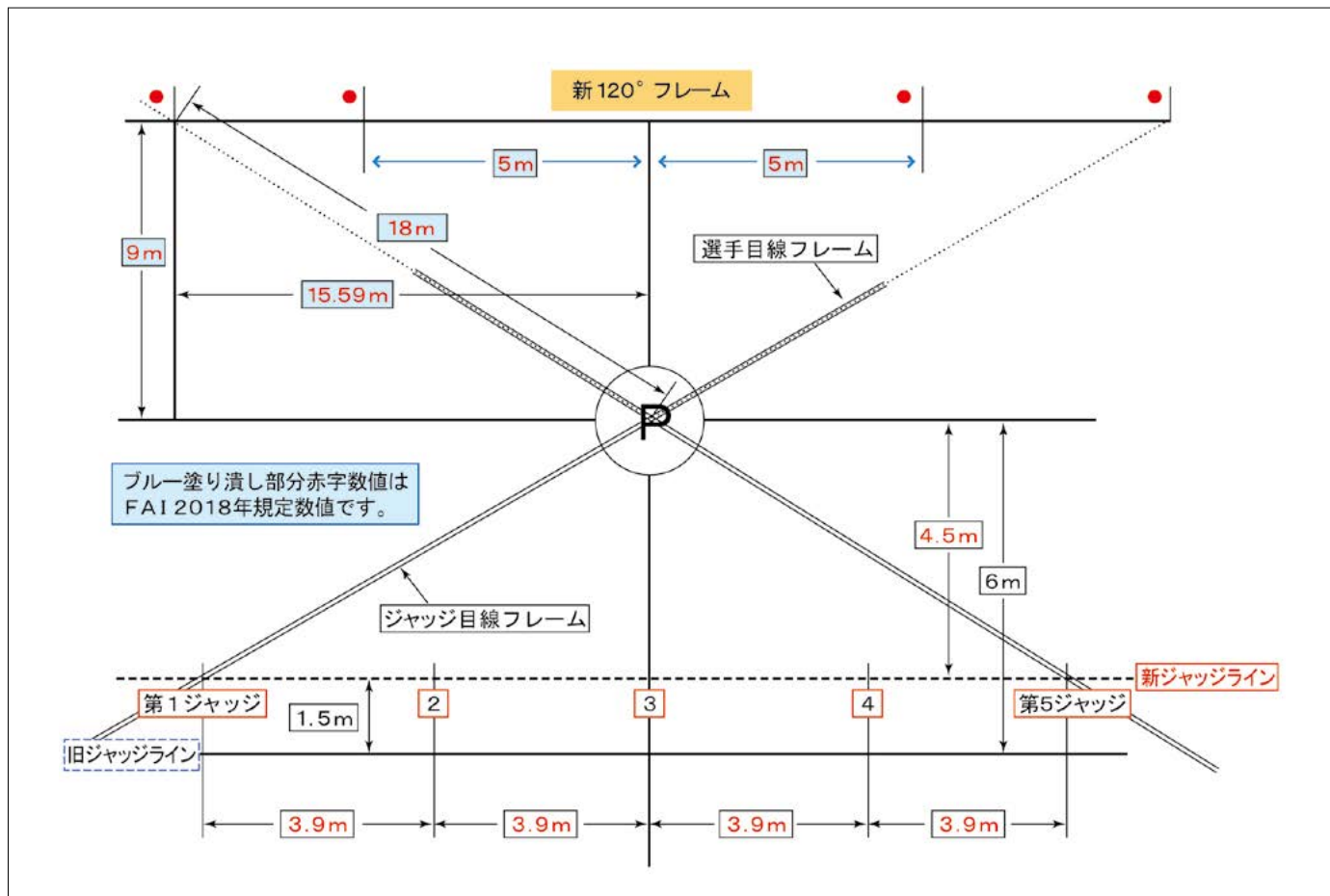
移動しながらの1/2アップフリップ。
2m以上の垂直降下。
プルアップし、10mの水平直線飛行に

復帰。

注意事項:二つのフリップは同高度で行われなければならない。

P4. プルバック・ウイズ・スリーハーフループス (UU) K=1.0

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、そして、プルアップし垂直上昇に入る。



↑新120°フレーム案のフライトエリア。

F3CRCヘリコプター日本選手権地区予選限定のプログラム

各演技スケジュールは、各々のエアロバティック演技の開始、終了の方向を風の向きで表記(例えば UU は向かい風開始、向かい風終了、DD は送り風開始、追い風終了、DU は追い風開始、向かい風終了、UDは向かい風開始、追い風終了を表す)し、一覧とした。

スケジュール・P(地区予選限定)

P1. フラワー(UU)

P2. カップ (オポジット2-180°ピルエット).....(UU)

(通過飛行)

P3. ダブルキャンドル・ウイズ・ディセンディングフリップ.....(DD)

P4. プルバック・ウイズ・スリー・ハーフループス.....(UU)

P5. UX(ユーエックス).....(DD)

P6. オーバル・ウイズ・トラベリング・フリップ(UU)

P7. オポジット・ハーフ・アンド・フル・インバーテッドロールズ(DD)

P8. ループ・ウイズ・フリップ.....(UU)

(通過飛行)

P9. オートローテーション・ウイズ・180° ターン(DU)

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、任意の方向に1/2ロールを行う。

1秒間以上の背面飛行。

センターで、逆方向に背面フルロール。

1秒間以上の背面飛行。

最初の1/2ロールと同方向に1/2ロール。

10mの水平飛行をもって演技を終了する。

注意事項：演技の中央はセンターであること。

P8. ループ・ウイズ・フリップ (UU)

K=1.0

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、プルアップし、センターでループを行う。

ループ中、ループのトップで移動しながらのプルドフリップをセンターで実施する。

プルアップし、10mの水平飛行をもって演技を終了する。

注意事項：

1. フリップの軌道はループのパスに包括していること。

2. フリップはループ軌道の1/4とする。

P9. オートローテーション・ウイズ・

180° ターン (DU) K=1.0

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、エンジンカット(またはアイドルング)して オートローテーション降下に入り、センターラインから180° ターン降下に入り、パイロットの方向に向かう。

そして、向かい風でヘリパッドに着陸する。

*この演技は2002年演技科目スケジュールPより抜粋

注意事項：模型のフライトパスは上から見て半円であること。

(日本模型航空連盟RCヘリコプター委員会)

停止に達した後、模型は1/2バックループを行なう。

テールを上に向けた状態の停止に達した後、模型はセンターで、背面1/2ループに入る。

機首を上に向けた状態の停止に達した後、1/2バックループを行う。

テールを上に向けた状態の停止に達した後、模型は垂直降下に入る。

垂直降下後、プルアップし、水平直線飛行に復帰。

開始時と同高度の10m水平飛行をもって、演技を終了する。

注意事項：3つの半ループは同一半径、同一高度であること。

P5. UX (ユーエックス) (DD)

K=1.0

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、45°上昇に入り、センターで1/2ロールを行う。

停止に達した後、模型は135° プルドフリップを行い、センターに“U”の字を描き停止。

模型は135° プルドフリップを行なっ

た後、45° 降下に入り、センターで1/2ロールを行ない、プルアップし、水平直線飛行に復帰。

10mの水平飛行をもって演技を終了する。

注意事項：“U”の字のボトムはセンターであること。

P6. オーバル・ウイズ・トラベリングフリップ (UU) K=1.0

模型は10m以上の直線水平飛行を行い、プルアップし1/2ループに入る。

1秒間以上の背面飛行を行う。

センターで移動しながらの360° プッシュドフリップを行う。

1秒間以上の背面飛行を行う。

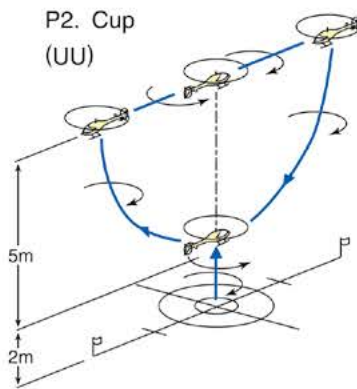
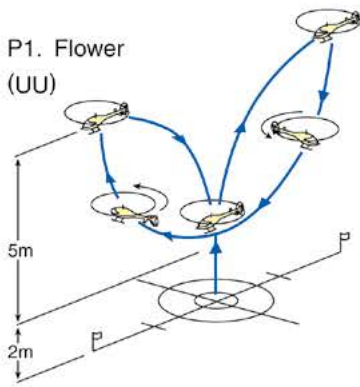
1/2ループを行った後、プルアップし、水平直線飛行に復帰。

10mの水平飛行をもって演技を終了する。

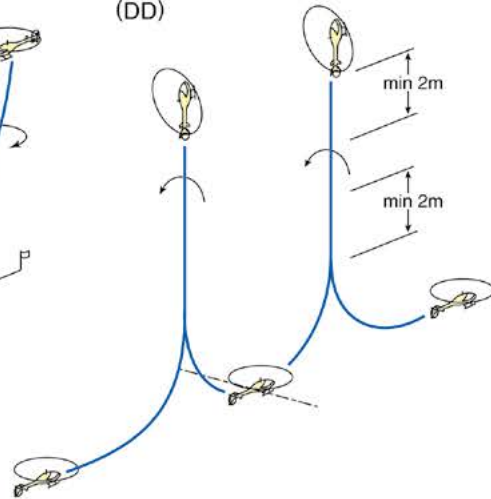
P7. オポジット・ハーフ・アンド・フル・インバーテッドロールズ (DD)

K=1.0

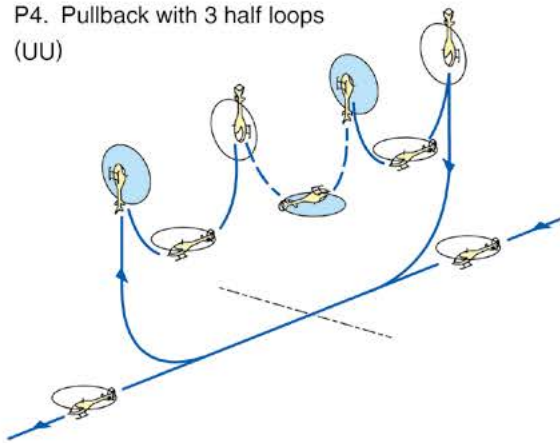
SCHEDULE P



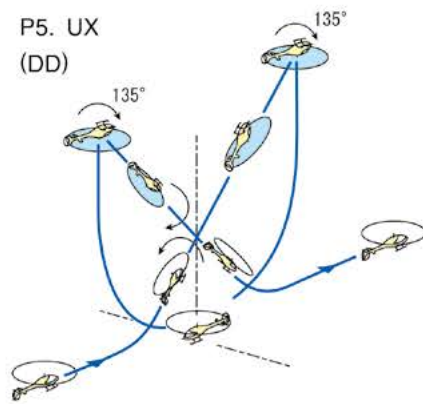
P3. Double candle with descending flips (DD)



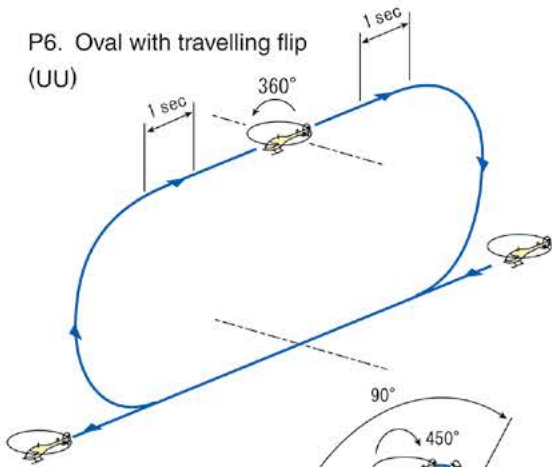
P4. Pullback with 3 half loops (UU)



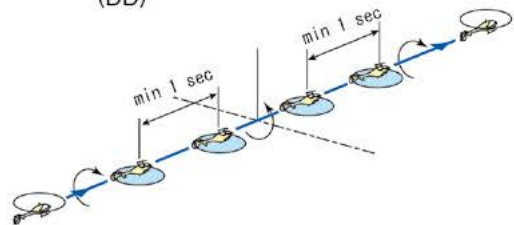
P5. UX (DD)



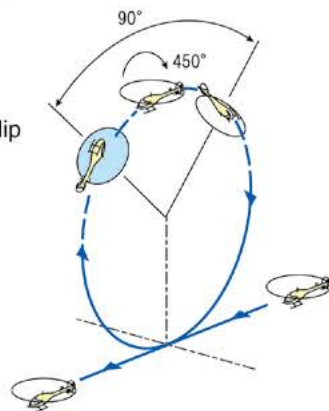
P6. Oval with travelling flip (UU)



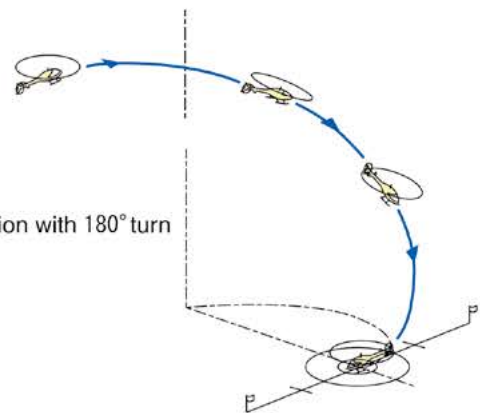
P7. Opposite half and full inverted rolls (DD)



P8. Loop with flip (UU)



P9. Autorotation with 180° turn (DU)



↓ヘリの入り方、上空から修正中です。